

議会だより



第99号

平成25年(2013年)10月31日

な

か

べし

っ



9月定例会で決まりました	2
一般行政・教育行政報告	3
議会報告会	4～5
一般質問	6～7
議員研修・道内視察研修	8
補正予算質疑応答	9
常任委員会活動レポート	10～11
意見書・人事案件	11
活動報告	12

空と緑の大地フェスティバル
大草原100人サッカー

9月定例会で決まりました

平成25年9月9日から13日まで開催し、議決した主な内容をお知らせします。



中標津体育館

9月補正額

◇一般会計補正予算

3億827万3千円を追加し、134億3,839万5千円となりました。

- ・地上デジタル放送難視対策 4,861万5千円
難視世帯への光ファイバーケーブルによる有線共聴（俣落・川西・西町地区）
- ・地域おこし協力隊設置事業 620万7千円
町の嘱託職員として2名の採用（特別交付税）平成25年10月から3年間
（町の観光業務・観光協会事務局のバックアップ）
- ・仮称総合体育館建設基金積立金 2億11万5千円（総額4億7,172万円）

◇介護保険事業特別会計補正予算

934万6千円を追加し、14億3,829万2千円となりました。

（平成24年度介護給付費等確定により）

条例の制定、一部改正等

◆中標津町町税条例の一部を改正する条例制定

公的年金等の仮徴収税額の算定方式の変更等

◆中標津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

地方税法の改正に伴う規定の整備等

◆北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

住民基本台帳法の一部改正及び外国人登録法の廃止による改正

◆工事請負変更契約の締結

旭第2団地新築建築主体工事 5号棟・6号棟

決算審査特別委員会を設置しました

◆平成24年度各会計決算審査のため、特別委員会を設置しました。

委員については12ページに掲載しております。

一般行政報告

一、要望等について

- (1) 根室地方総合開発期成会として、2014年根室地方の地域づくり・総合開発に関する要望・提言を釧路・札幌・中央各段階に要請活動をしました。
- (2) 中標津空港利用促進期成会として、ANA札幌支店・東京本社に、地域航空ネットワークの充実・拡大や利用しやすいダイヤと運賃の
- (3) 北海道空港協会として、国土交通大臣をはじめ関係部に、空港の整備、予算・財源の確保、地方路線維持のための支援策の拡充などを要請しました。
- (4) 根室管内5市町防災基本協定の締結を8月23日に行い、広域連携の強化を図りました。



小麦の生育状況

二、寄贈金品について

現金で3件、21万5千円、物品で4件の善意が寄せられました。

三、作況状況について

9月1日現在、牧草、サイレージ用トウモロコシとも平年並みですが、不順な天候が影響し生育は鈍化の傾向にあるとのことでした。

馬鈴しょ・てん菜は平年よ

教育行政報告

一、各種大会等の 出場結果について

7月26日から江別市で開催された、第34回北海道中学校水泳大会で中標津中学校3年生女子が100m・200m平泳ぎで見事優勝しました。

8月9日美幌で開催された東北北海道学校農業クラブ連盟技術競技大会の食品化学部門で中標津農業高校3年生女子1名が最優秀賞を受賞しました。

二、都市間交流事業について

川崎市、長野県富士見町との自治体交流会を川崎市で行い、小学5・6年生10名が参加、東芝科学館で最先端の科学技術を体験し、ペットボトルのリサイクル工場では、限られた資源の有効活用を学ぶことができました。

サマーキャンプに川崎市から24名の児童・生徒が来町、乳製品の加工体験や溪流釣り、依橋小学校児童との交流など中標津の魅力を感じまし

四、建設工事の 発注状況について

8月21日現在で、件数で135件、金額で34億1千454万4千円、率で87.9%の発注でした。

した。

三、中標津農業高校生の 海外派遣について

ニュージーランドへ7月30日から11日間の日程で生徒5名が参加、酪農研修とファームステイを体験し、大変意義深い研修ができたようです。



中標津農業高校生の海外研修風景

四、第56回北海道 学校給食研究大会 開催結果について

本大会は8月1日から2日に中標津町総合文化会館で開催され、中標津農業高校の生徒による研究発表や意見発表などがあり、参加者に有意義な情報を提供でき、好評の中、大会を終了しました。

第5回 議会報告会

7月28日中標津、計根別両会場に約50人の町民のみなさんが出席され、多くの意見・要望が出されました。一部要約して記載します。

中標津・ 計根別会場

質問 現在町議会議員は16名であるが、

支障があるのかどうか。あるとすればどういう面なのか。

答弁 2名の欠員

となった事により、各議員が分担、負担してやっており、仕事の量が増える事により負担が大きい。

各委員会も6人で構成しているが4人となっている委員会がある。一人が受け持つ委員会の数が多くなり各々の委員会にとっても影響は大きい。

事案の決議にあっても人数が少なれば良い討議もできない。

質問

・議会報告会に対し質問事項はあったのか。あれば町民に対し広く知らせるべきことが必要。町民はどんな事項があるのかわからない。
・パソコンを使って情報を得る人はほんのわずかである。

・報告会で各委員会が「報告を受けました」と言っているが結果が出ていない。

答弁

議会だよりに掲載します。また町のホームページでもみることが出来ます。

質問

防災対策・危機管理対策についてFMはなで情報をわかりやすくしているはずだが、標津・別海地区に電波が届いて、開陽台・武佐地区には電波が届かず、聞こえにくいので、開陽台から発信したらよいのではないか。

答弁

町では、FM放送を災害発生時における情報伝達手段の一つとして利用しており、平成21年度にFM放送の

難聴地区の解消を目的に整備したところでありますが、地理的条件により未だに難聴地域があることは事実ですので、今後においても「FMはな」と検討を進めてまいります。

町ではほかに、町のホームページ、フェイスブック、ツイッターでの配信はもとより、携帯電話での登録による緊急情報

メールの配信など複数の災害時情報伝達手段を確保し、それぞれの通信特性に合わせて情報を伝達することに努めておりますので、町の広報紙などをご覧の上ご活用願います。

質問

空港前のレンタカーシヨップにおける公道での危険な車両積み下ろし作業の改善について。

答弁

生活課において中標津警察署交通課に対し協議を行ない見解を聞きましたところ、次のとおり回答がありました。

・作業の内容からは危険な作業とは判断できない。

・道路の形状からは路上での作業が道路交通法上違法とはならない。

・公道では、通行車両も作業車両も双方ともに安全を確認しなければならぬ。

このことではありますが、中標津警察署において、レンタカーシヨップに対し改善策を指導することとなりました。



中標津会場



計根別会場

質問

計根別小・中学校の新しい体育館になっても放課後の部活が一斉にできないので、交流センターを利用しながらの活動となることを議員は承知していたか。

答弁

学校関係者との話しの中ではそれほど大きな支障は無いとのことでした。

町内市街地の学校の体育館と比較した場合でも、二番目の広さ(869㎡)で十分とはいえませんが、交流センタ

ーを利用しながら生徒に負担の少ないように心がけます。

質問

計根別地区における災害時避難所への備蓄品整備と、AEDの24時間対応について。

答弁

「中標津町交流センター」と「老人福祉センター」の2箇所を避難所にしており、あらゆる災害に備えて交流センターに毛布150枚、非常食50人分を備えております。

今年度は、中標津石油業協

同組合様から電気を使用しない石油ストーブの寄贈があり、数台の配置と小型発電機・照明器具を配備する予定です。

AEDの24時間対応は、現状では不可能であり駐在所への設置・保管もできないとのこととです。再度、地域の方々とも協議させていただき、可能な方法について検討してまいります。

ます。

質問

災害時のため、町内会未加入者の名簿を町内会で保管できないか。

生活保護世帯の町内会費を行政負担できないか。

答弁

名簿は個人情報で提供できない。

町内会費の行政負担は、生活保護費の減額につながる可能性があります。

質問

病院職員の患者対応について。

答弁

職員の接遇改善に向け、全職員を対象に研修を年1回開催するとともに、新規採用職員研修、看護協会等実施の接遇研修に看護師を受講させるなど種々の対策を講じています。

質問

社会福祉協議会の介護サービスについて。

答弁

介護職員の半数位辞められているとのことでしたが、確認したところ多少の變動はあるものの、職員が減少している事実はないとのこと

です。

質問

新体育館の駐車場の西側の山を削って広くするべきではないか。

道路も十字路で交通量が多く安全面はどうなのか。

答弁

山を削る件については、担当部局で検討するということとです。

通学路であり、安全確保を十分に考えきちんと整備を予定しています。

アンケートに寄せられたご意見

- 時折、議員もよくわからないという発言がありました。「報告会」ですのである程度の準備をお願いしたい。
- 活動報告が口頭から文書や資料に基づきわかりやすくなった。
- 暴風雪に対する危機管理対策や報告会で出た質問・答弁について広く住民に情報公開してほしい。
- 報告会への参加者が減少傾向にある次年度に向け備える必要がある。

アンケートにご協力ありがとうございました。皆さんからいただいた貴重なご意見等を議会活動に生かしてまいります



町政を問う ここが聞きたい

9月定例会では4人の議員
が7問の質問をしました。
理事者からそれぞれ答弁が
ありましたので要約して掲載
いたします。

「健康(健幸)マイレージ」で生きがいと
地域経済の活性化へ

水石 幸衛 議員

マイレージ事業の成果について調査・
研究をします

町 長



質問

健診の受診やスポーツ活動への参加などでポイントがためると特典を利用することができ、「健康マイレージ」の取り組みが注目され、この制度によって町民の受診率を上げ健康づくりをすることで医療費や介護費の抑制につながるほか、地域経済の活性化など、まちづくりや人づくりにつなげていくことが期待できる施策で、「日本一健康文化都市」を掲げる静岡県袋井市では、平成19年度から全国に先駆けて実施、24年度には約8万3千人の人口で、マイレージの参加数は1万人を超えています。

ポイントの使い道は公共施設の利用券や商品券・食事券など、民間の登録のサービス券に交換できるほか、認定した学校・幼稚園・保育所など

に寄付できるなど、社会貢献できるようにもなっています。
商店などでは年々商品券の利用枚数が増えており、街の活性化につながっています。
このような取り組みは、将来の超高齢化社会を見据えた施策と考えますが、見解をお伺いします。

町長答弁

中高年齢者の健康づくりは「健康づくり推進計画」及び「特定健康診査等実施計画」に基づいて実施しています。が、平成24年度からスタートした健康づくり推進計画において、自主的な活動の力に期待をするとともに、相談事業の充実に向けて取り組んでおり「第2期特定健康診査等実施計画」では、対象者が受けやすいよう体制整備を進めています。

今後の超高齢社会を見据えた健康づくり体制と、各自自治体のマイレージ事業の成果を見極めながら、調査・研究をします。

「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進

端 裕子 議員

基礎学力の定着に向け努力していきます

教 育 長



質問

平成24年度の全国学力・学習状況調査によると当町の小学生の、毎日朝食を食べる割合はかなり高くなっていますが、授業で食育推進をしているので、とりあえず食べさせればよいという中身で、質の良いバランスのとれた食事にはなっていない現状です。
また当町で基礎学力向上に重要な読書を全くしない小学生が27%、中学生は51%もいます。

この様な食事や生活習慣の乱れは、個々の家庭や子どもの問題として見過ごすことなく、社会全体での取り組みが必要で、そのためには子ども達の基本的生活習慣の確立や生活リズムの向上につながる

「早寝・早起き・朝ごはん」運動を積極的に推進し、町全体のテーマとしての取り組みが必要だと思っています。
簡単朝食のレシピを配った小学生向け和食料理教室や通学合宿・ポスターのコンテストなど具体的な施策が必要。

教育長答弁

規則正しい生活習慣を身に付け、バランスの良い食事をとることは、学習意欲や体力・気力の向上に必要と考え、早起き習慣の定着を指導していますが、保護者の夜間から早朝勤務や、児童生徒が登校する前に勤務をおこなっているなどで孤食の生徒も1割以上います。

各学校および町食育推進連絡協議会と連携し、一層取り組みを充実し、読書目標や感想文の提出などの指導も実施して基礎学力の定着に向け努力していきます。

町政を問う

ここが聞きたい

(仮称) 中標津町児童センターについて

瀬波 秀人 議員

正職員の配置は必要と認識

町長



質問

高校生の居場所について質問した私としては、中高生も対象とした「児童センター」に期待している。

建物ではなくソフト面での写真等を伺いたい。

現在の児童館スタッフは全て嘱託職員だが、センターには正規職員が必要だと思うがいかがか。

町長答弁

子育て支援は主要施策であり、0歳から18歳までの全児童を対象とする児童センターでは、各種教室・講座・サロン事業などを計画、開館時間

などについても検討中です。子育て支援の拠点として、現場で責任を果たす正職員の配置は必要であり、適正な職員配置を進めてまいります。

他の1点の一般質問概要

◇テレビ北海道の視聴を可能に

テレビ東京系列のTVHが見られないことは、地元にとっても、地方から来町される方にはマイナスイメージであり、何らかの方法を模索できないものか。

町長答弁

現在、半額補助の制度を利用して自治体による中継局整備も可能だが、その事業費は約1億円以上との試算であり、TVH自身による中継局の早期開設を要望していきたく考えています。

ゲリラ豪雨と特別警報に対応する体制

松村 康弘 議員

将来の対応に努めてまいります

町長



質問

8月24日別海町に降った時間あたり80mmの豪雨は当町の市街地からほんのわずかしかな離れていないバイパス南東部においても、山砂利採取跡の大規模草地において奔流となつて流れ出し、草地のきわの法面を大きく削る、いわゆるガリー侵食を現出させました。

もし、このような豪雨が標津川の上中流域の平地の大規模草地に降り注いだら、ごく短時間に洪水の可能性がありますが、特別警報に対応する防災計画の見直しと、どの位の降雨がどのような水位変化を引き起こすか経験値を集めて、主体的に町民の安全を図る努力が求められるのではないのでしょうか。

町長答弁

気象庁の防災気象情報は降

水の強さ・雷の活動度・竜巻などの起こりやすさなどを5分から10分おきに更新するホームページで公表しており、これを注視して情報を集積し、町民への広報や周知に關して遅れを取る事のないよう、防災計画の改訂作業を進めております。

また、ガリー侵食に關しましては時間をかけて関係者との合意形成に努力する事で将来の対応に努めてまいります。

他の2点の一般質問概要

◇特定道路占用区域(商店街の一部歩道のオープンカフェ)などへの利用に關して町長答弁
当町の場合、歩道幅が狭く対応できません。

◇将来の市街地公共交通とバス路線(バス2台の運用が必要)町長答弁

路線見直しにともなう、利用者の利便性の向上など調整していくのが重要と考えております。



「今後の政局、政治展望」

政治アナリスト

伊藤 惇 夫 氏

衆議院選挙で自民・公明党が圧勝支持されたのは、国民の安定志向と期待感である。

参議院選挙は、経済対策が目玉となり現政権が支持されることになるだろう。

民主党政権を整理すると、政権運営の未熟さと誤った政治主導を唱えて官僚と対立してしまったこと、寄せ集めの生い立ちを反省せず棚上げし続けたことである。

今後、民主党再生の道は険しく分裂に進むだろう。

維新の会は、橋下氏の慰安婦問題で失速し、みんなの党も内部分裂で、創業型政党の宿命なのだろう。

参院選は、野党の非力感はぬぐえず、自民が60議席以上民主は20議席前後になると予想している。

今は、カンフル剤が効いているが、持続的に回復させる「3本の矢」が期待されている。参院選後、伊藤氏の予想がほぼ的中していることに驚きました。



議員研修

6月27日、全道から約1,800人の町村議員が集い研修が開催されました。

(瀬波秀人議員)



「議会改革に期待する」

慶應義塾大学教授

片山 善 博 氏

(元鳥取県知事・総務大臣)

鳥取県知事を8年間勤め、日常「変だな」ということを少しずつ変えていき、改革知事といわれた。

滋賀県大津市のいじめ自殺問題を取り上げ、教育委員会がかやの外に置かれていたといわれ機能していないことに批判が集中したが、最後に同意・承認したのは議会である。何のチェックもしないで首長の提案を通した議会にも責任があるわけで、教育委員に直接話を聞けるような改革をしていかなければならない。

地方分権というのは、議会に決定権が与えられ、そのぶん責任が重くなるわけで、議員間協議の場を増やしたり、公聴会を開くなどして、現場や住民の声を聞いていくべきと、熱く語っていただきました。

道内視察 研修報告

学校跡施設再利用 ～新冠町～
6月26日



おうるの郷での研修

中標津町では、統廃合が進んでいる郡部校の再利用について、地元地域との協議を重ねていますが、良い方向には至っていません。この度、ヤフーオークションなどの活用により7校の小学校跡施設再利用応募の結果6校と教員住宅3棟が落札され、再利用されている新冠町での研修を行なつてまいりました。新冠町は9校あった小学校を7校廃校し2つの小学校に統合されています。この7校と教員住宅の再利用が大きな問題であり、町民や地元事業者の人脈・つながり・インターネット・新聞や各種メディアなどへの情報発信を積極的に行い売却に至っています。校舎の建設経過年数が短く平成に入ってから建設が3校あり、売却



小学校跡施設おうらの郷（入居者61名＋職員40名）

しやすい条件であり、役場庁舎で説明を受けたあと、視察させていただいた校舎跡は平成6年に建設され高齢者入所施設として再利用されています。施設内部は木材がふんだんに使われ癒やしをとめる施設としては最適でなにも手を加えず利用しているとのことです。

中標津町の校舎は築40年以上経過しており、再利用は、むずかしい状況にあります。が色々な方法を模索していかねばならないと感じました。（後藤 一男 議員）

9月定例会補正予算質疑応答

「西2条橋の車両通行止め」予算案について

質問

一般会計補正予算の街路事業費として提案された議案は「西2条橋」を通行止めにするための予算案であって賛成しかねる議案です。

橋の改修の説明に対し行政の説明不足や手順に不満を示しており、11月に「車両の全面通行止め」を実施することすら住民に説明がいきわたっておりません。

耐久力のない危険な橋梁の通行止めをせざるを得ないとの説明ですが、近隣住民の多くは、橋の改修の必要性は認めるが、反対者の考えも「二部理解できる」という住民も多いようです。

現在までの経緯の説明について答弁を求めます。

答弁

平成22年度橋梁点検の調査結果「危険橋」であることが判明したので一時的な橋梁補強工事を施し、平成23年度に橋梁の全面的な架替工事の設計を行いました。

平成24年度工事実施直前に1年間に及ぶ工事の振動・騒音に耐えられない方が複数いらっしゃるということがわ

かり工事を中止しました。

その後、1年間協議してきましたが解決に至らず、本年度危険橋の応急補強も限界と判断し道路管理者としての行政処分による通行止めを実施するものです。

再質問

住民生活への影響と今後の対応について、どのように考えているか。

答弁

中心市街地での通行止めによる影響は十分認識しております。この先ごみの収集・冬期間除雪、さらに救

急車両など生活環境に支障が無いように十分に配慮していきたいと思えます。

また、議員ご指摘のとおり橋梁点検後、危険橋の解決方法として仮補強工事と早期の架替工事の検討を優先し、住民対応が後手になっておりました。

危険橋の改修工事は、住民に「賛成」「反対」を問うもので無く、あくまでも道路管理者の責任で早期の安全確保が必要との認識で進めていたことも事実で、住民への配慮が欠けていたことは反省すべきと思っています。

なお、住民説明会については10月11日に開催を予定しております。

平成25年 第3回臨時会

平成25年 8月9日開催

- 平成25年度中標津町一般会計補正予算（第4号）
1,394万4千円を追加し、131億3,012万2千円となりました。
- 工事請負契約の締結
計根別小中学校校舎増改築建築主体工事
8億2,971万円
犬飼・廣木特定建設工事共同企業体
- 工事請負契約の締結
計根別小中学校校舎増改築電気設備工事
1億4,190万7,500円
尾藤・岩谷経常建設共同企業体
- 工事請負契約の締結
計根別小中学校校舎増改築機械設備工事
1億4,091万円
奥村・細谷経常建設共同企業体

常任委員会 活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会はこの間を活用し、所管する事項とその他案件の調査をしています。主な調査事項を報告します。

総務文教常任委員会

学 校 視 察

(総務部)

- 町財政の現状
- 町税の収納額・収納率の推移、収納状況の説明を受けました。

- 町有財産の管理では、町道北十四号の廃道敷地の売り払いの報告を受けました。

(教育委員会)

7月16日から17日の2日間で町立学校の視察を行い、学校経営や施設の状態、授業状況を見て回りました。

農業高校を含む町内12校の視察のため、2日間とも早朝からの訪問となり、各学校にも時間割などでご迷惑をおかけいたしました。

各学校からは、前年の10月頃に施設や支援の要望が出されていますが、これとは別に総務文教常任委員会として指摘事項と学校からの要望をまとめて、次年度以降の予算や支援で参考にするように、教育委員会に示しています。

- 児童生徒・教員数
- 開拓100年史から新たな歩みを考える酪農文化の継承事業
- (仮称)総合体育館建設基本設計に関するパブリックコメントの結果
- 義務教育扶助費(就学援助費)の説明を資料に基づいて受けました。

(熊倉重樹議員)



俵橋小学校授業風景

厚生常任委員会

町立病院・森の家視察

(町立病院)

町立病院の運営状況や経営状況について意見交換と提言をしました。

町立病院は現在のコンビニ診療に近い運営を強いられるなかで医師の疲労がたまり、それらが結果として入院患者の減につながり、収入減にもなっています。説明後、今後の補正額をどう見ているのかや入院患者の増につなげるために医師の増員を考えているのかなどの質疑応答をしました。

(町民生活部)

生活交通路線バス(市内循環線)は路網が充実して使い勝手が向上する予定です。(10月視察)

児童会館が新たにセンターとして計画され図面上のチェックを行なっています。

- NPO法人森の家の移設した作業所を視察して皆さんの活き活き元気に働く様子を参観させていただきました。このような施設がさらに、さまざまに発展していくことの必要性を改めて認識するとともに、製作される製品の購入について町民の皆さんに関心を持っていただけたらと思う視察となりました。



森の家視察

(松村康弘議員)

産業建設常任委員会

作況状況の現地調査

(経済部)

8月1日、各作物の作況状況について、農業改良普及センターの案内で現地調査を行いました。

●麦類視察(俵橋 希望農場)

秋まき小麦、春まき小麦ともに主産地より多少遅れは見られるが生育は順調。秋まきはお盆前の収穫、春まきもお盆後には収穫予定とのこと。その後、雨天続きのなか収穫したものの品質に若干の影響が出たのは残念でした。

小麦の栽培は酪農における草地更新に組み込むことで植生の改善が見込まれることや、麦ワラが利用できること(通常は小麦産地より買い付けて牛の敷ワラなどに使用している)、また畑作における輪作が可能になるなど、利点が多い。

大麦についても試験栽培が行なわれ、これらの新しい作物の栽培はさらに地元特産品の開発にもつながり大いに期待されます。

●畑作園芸視察(武佐 真野農場)

馬鈴しょの植付は平年並みだったがその後順調で(7/15現在)平年より3日早い生育となっている。てんさいも平年並みの播種で始まり、出芽や移植が遅れたものの(7/15現在)平年より2日早い生育。だいこんも生育は順調であるが、昨年問題になったハエ幼虫による被害が発生している。このことは現地視察で被害を目の当たりにし、深刻な様子がうかがえた。今後ハエ幼虫(2種)の特定、防除の適期の研究に取り組みとのことでした。ブロッコリーも生育は順調だがヨトウムシの発生が見られる。

近年、中標津ブランドとして成長している品目なので、今後とも栽培技術の確立に努め、販売額についても成長を願うところです。



真野農場視察

(瀬波 秀人 議員)

人事案件



◇教育委員会委員の任命に同意しました

氏名	小谷 木 透 氏
住所	中標津町東9条 南5丁目1番地20
任期	平成25年10月1日から平成29年9月30日

意

見

書

住民自治の推進に逆行する道州制導入に

断固反対する意見書

提出者 弾正原 正 議員

道州制への移行のための改革基本法案は、道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないまま、期限を区切った導入ありきの内容となっており、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高いうえ、道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地域産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、我々中標津町議会は、住民自治の推進に逆行する道州制の導入に断固反対する。

平成25年7月から9月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
7月2日	議会広報特別委員会	全 委 員	18日	中標津消防団総合訓練	議 長・ 議 員
4日	北海道森林・林業林産業活性化促進議員連盟連絡会及び北海道森林・林業・木材産業活性化を促進するための連絡会議合同役員会（札幌市）	林 活 会 長	20日	北海道町村議長会主催議会広報研修会（札幌市）	議 長
5日	議会広報特別委員会	全 委 員	25日	陸上自衛隊別海駐屯地創立48周年記念行事（別海町）	議 長
8日	釧路根室地方森林・林業・林産業活性化を促進するための連絡会議総会（釧路市）	林 活 会 長 ほ か 3 名	9月3日	議会運営委員会	欠 席 1 名
9日	議会広報特別委員会	全 委 員	4日	北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会（札幌市）	林活事務局長
11日	中央実行運動（東京都）	議 長	5日	北海道社会福祉大会	議 長
11日	中標津町外2町葬斎組合、根室北部消防事務組合、根室北部廃棄物処理広域連合、根室北部衛生組合 各議会定例会	議 長 ほか 関 係 議 員	9日	総務文教常任委員会	全 委 員
12日	全員協議会	全 議 員		厚生常任委員会	全 委 員
13日	なかしべつ 330° 開陽台マラソン開会式	議 長・ 議 員		産業建設常任委員会	欠 席 1 名
16～17日	総務文教常任委員会	全 委 員		議会運営委員会	欠 席 1 名
28日	中標津町議会報告会	全 議 員		6月定例会本会議（1日目）	欠 席 1 名
31日	中標津町暴力追放運動推進協議会	議 長		全員協議会	欠 席 1 名
8月1日	産業建設常任委員会	全 委 員	10日	厚生常任委員会	全 委 員
	川崎市議会公明党視察	議 長		産業建設常任委員会	欠 席 1 名
5日	議会改革特別委員会	全 委 員	11日	総務文教常任委員会	全 委 員
	根室地方総合開発期成会要望・提言と意見交換会（札幌市）	議 長	12日	議会運営委員会	欠 席 1 名
6日	厚生常任委員会	全 委 員	13日	6月定例会本会議（2日目）	欠 席 1 名
	根室地方総合開発期成会要望・提言と意見交換会（東京都）	議 長		決算審査特別委員会	全 委 員
9日	第3回臨時議会	欠 席 1 名	17日	総務文教常任委員会	全 委 員
	総務文教常任委員会	全 委 員	20日	公益社団法人 中標津町シルバー人材センター創立20周年記念式典	議 長
10日	札幌医科大学島本和明学長来庁	議 長		中標津地区連合創立20周年記念レセプション	議 長
15日	なかしべつ夏祭り安全祈願祭	議 長	24日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名
	中標津町殉公者追悼式及び殉公者之碑参拝、中標津町遺族会総会	議 長・ 議 員		衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会の視察に係る懇談・要望会（根室市）	議 長
			30日	議会改革特別委員会	欠 席 1 名

議会からのお知らせ

「議会を傍聴してみませんか」

議場には傍聴席が30席あり、先着順に議会傍聴できます。傍聴者には参考資料を配布して、議会の取り組みが理解できるよう対応しています。一人でも多くの方々に傍聴していただきたくご案内します。

その他、議会に対する要望などがありましたら議会事務局にお申し出ください。

議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
中標津町役場

TEL (0153) **73-3111** FAX (0153) **73-5333**

（議会事務局にご連絡を）

・ホームページは <http://www.nakashibetsu.jp>

・メールは nakasi-t@arens.or.jp

発行／北海道中標津町議会 編集／議会広報特別委員会

決算審査 特別委員会

委員長 熊倉 重樹

副委員長 瀬波 秀人

委員 佐野弥奈美

委員 端 裕子

委員 佐藤 武志

委員 松村 康弘

委員 後藤 一男